

大阪Reportレポート



長野県大阪事務所・観光情報センター Report Letter Vol. 4 (2022. 9. 1)

関西の今<トピックス>

- <2025年大阪・関西万博> 開催見据えた環境整備 <https://www.expo2025.or.jp/>
 - ・万博会場の人工島「夢洲」へ自転車でアクセス可能なサイクルライン整備構想を公表、国内外の客が各地を周遊できる環境を整える。京都、奈良、和歌山へつなぐ広域サイクルルートも視野
 - ・万博を見据え、大阪のシンボル「通天閣」を再建以来2度目の全面塗り直し（化粧直し）を公表
- <観光> コロナウィルス感染症急拡大も行動制限のない夏、需要は回復基調続く
 - ・3年ぶりに行動制限の無かったお盆期間、県をまたぐ移動も回復、JR西日本はJR6社の中で最も増加率が大きく、前年比2.3倍の160万人が利用
 - ・「京都五山送り火」「大阪四天王寺大盆踊り」など、3年ぶりに多くの夏祭りやイベントが復活、ホテルや商業施設の利用も回復基調が継続
- <産業> 企業の業況は明暗、脱炭素化に向けた計画公表続々
 - ・関西の上場企業の4～6月決算は明暗、人流回復でJR西日本や私鉄4社は黒字転換、製造業は円安による利益押し上げ効果の一方で、原材料や供給網の混乱で下方修正する企業も、大阪ガスや関西電力などはエネルギー調達コスト高が大幅な減益要因。
 - ・企業が脱炭素化に向けた計画や構想*を次々に公表
 - *大阪ガスが微生物の力を借りたメタン製造技術（バイオメタネーション）、ダイヘンが大阪ベイエリアを遊覧するEV船の開発、JR西日本はCO2ゼロバイオ燃料をディーゼル車両で実証実験など



大阪での取り組みの今

Vol. 4では最近のトピックスと信州の応援団・県人会との取組みを紹介

- 「旬のとうもろこしの販売」(8/9：大阪観光情報センター内)
 - ⇒旬の飯綱町産のとうもろこしを販売、併せて夏秋の観光とセンターをPR～
 - 大阪駅前第1ビルや近隣ビルのテナントを中心にダイレクトメール等でPR、予約販売分を含め、280本が午前中で完売



●「行こうよ信州！食べよう信州！F D Aで行く！信州の魅力再発見」
(8/16～21：ららぽーと甲子園)

⇒神戸松本便と信州の観光P R、旬の果物や野菜、おやきなどの信州特産品を販売する「信州マルシェ」、アルクマ with キッズダンスステージ、信州の木ペンスタンド工作体験、F D Aによる紙飛行機イベントなど、信州への旅や美味しい食をP R、県農業大学校とコラボした桃の販売に併せて学生募集も広報



<最近の県人会との連携の取り組みを紹介>

【県人会について】出身者や信州に想いを寄せる個人法人の交流組織で、その活動や様々な場面において、長野県を応援してくれる皆さんです。大阪事務所もイベントや多くの機会を通じて連携を図っています。

近畿長野県人会・京都長野県人会をはじめ、広島県・兵庫県・福岡県・滋賀県・島根県にも組織があり、600名を超える会員がいます。

【最近の取り組み】

○鴨川納涼祭り

～京都の夏の風物詩、各県の県人会が鴨川で交流、出店では駒ヶ根のモモやリンゴジュース販売



○高校野球出場校への激励・応援

～硬式野球・佐久長聖高校の宿舎に激励訪問し甲子園に
応援団、軟式野球・上田西高校は姫路球場で激励応援



○ふるさと納税や様々な寄付（ウクライナ避難民支援、山小屋応援プロジェクトなど）や催事・イベントへの協力



【今後の活動予定】・全国都道府県対抗駅伝（京都・広島）、全国高校駅伝（京都）、
全国高校ラグビー選手権（花園）などでの激励会や応援
・観光物産展などの催事への協力、連携

